

## 80.12.31-81.1.4 八ヶ岳 広河原沢第2ルンゼ

このときはアイスクライミングに行くという意識はなく、アイスクライミングの装備もほとんど用意していなかった。(シュイナードのウッドピッケルだった。) 初めて一周回れる氷柱に直面し、これの突破に苦労した記憶がある。

私の中ではこの山行の目的は、一番奥に聳える「正面壁」の登攀にあったため、岩場の基部で2日間ビバークして天候の回復を待った。阿弥陀岳山頂近くでのビバークは厳しく、2日間の間に体力の消耗と凍傷のため結局諦めて行者小屋に下った。パートナーは井出さん。

下山後も足裏全体の凍傷のため、2ヶ月近くまともに歩くことができなかった。

阿弥陀岳を望む



第2ルンゼ



南沢にて



風雪の正面壁

